

## 平成 28 年 4 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

4 月の業種別景況の前年同月比 D I 値は、好転が 6 業種、昨年同等が 7 業種、サービス業の 1 業種のみ悪化の結果である。

受注が好調で回復の兆しがある業種もあるが、全体的には受注や売上の減少の報告が多い。

熊本地震による影響としては、自動車関連部品で出荷停止や旅行業で予約キャンセルの発生があげられている。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 4 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化： 36.3% DI 値：▲31.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 11.3% 減少： 35.0% DI 値：▲23.7% ポイント









収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転： 7.5% 悪化： 26.3% DI 値：▲18.8% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 28 年 4 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲100.0	▲83.3	0.0	50.0	▲30.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
0.0	▲22.2	▲75.0	▲45.5	▲20.0	▲42.9	0.0	▲31.9
							

全 体
▲31.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	求人広告を出しても応募が少なく、人材不足感がある。特にケーキ屋等洋菓子店でスタッフ募集の張り紙が多い。宇部地区では、昨年シャトレゼに奪われた顧客が戻ってきている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	人材確保が難しくなっている。	パン・菓子製造業 下関市
	4月は23日時点で対前年同月比▲15%。NHK大河ドラマ効果の大きかった昨年を大きく下回っているが、前々年との比較では同等の売上水準で平常に戻ったという感じである。平成27年度売上は約12億円となり過去最高売上をマークした。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが鈍い。熊本地震の影響と思われるが、九州地方の物の動きが鈍っている。	水産食料品製造業 下関市
	4月とは思えないような暴風雨や長雨が続き、麦の生育への影響が懸念されている。近年、大震災や豪雨に伴う天候のため、企業経営に影響を及ぼす状況となっているので、自然災害へ対応できるような、インフラの整備が必要となってきた。このような自然災害に対応できるような、保険制度の充実を望む。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の受注増により7月末まで受注がある。実習生受入は、4月15日にベトナム人実習生が6名入国し、現在、中国人32名、ベトナム人29名の計61名となった。ベトナム人実習生の通訳専門スタッフの雇用が決定した。	下着類製造業
	熊本地震の影響はまだ出ていないが、今後が不安である。	外衣・シャツ製造業 山口市
	繊維業界全般の景況は低調ではあるが国内の縫製工場が廃業・倒産等で減少したので、切れ目なく受注出来ている。また、カジュアルパンツの専門会社ではデザイン性の高い縫製が求められるが、縫製指導者があり大手からの引き合いも多い。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新築工事の受注は依然として少なく、売上高は伸びていない。	製材業・木製品製造業 山口市
印刷	印刷業界は、市場の縮小やインターネットによる受注業者市場参入により、過当競争の状況が続いており、この影響を受けて販売価格の下落傾向が続いている。	印刷 下関市
	年度末の忙しさも去り、落ち着いた年度初めとなった。依然受注は低迷が続いている。	印刷 山口市

窯業・土石製品	<p>公共工事がほとんどなくなり民間の工事が少し入る程度。厳しい状況がまだまだ続く模様。</p> <p>(平成27年4月)</p> <p>骨材 77%、路盤材 92%、再生材 108%</p> <p>↓</p> <p>(平成28年4月)</p> <p>骨材 65%、路盤材 192%、再生材 78%</p>	砕石製造業
	<p>出荷量は前月比99%、対前年同月比90%。平成27年度は対前年度比96%となり、2年連続で対前年度比を割り込んでいる。平成28年度も約94%で3年連続の減少となる厳しい見通しである。現在、セメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じておらず、生コン価格も安定している。</p>	生コンクリート製造業
	<p>昨年6月の組合事務員退職に伴い組合事務局のあり方を検討し、この3月末をもって山口市の事務局を引き払った。組合員の組合に対する考え方も変わってきており、組合の存続自体を考えなければならない時期に来ているのかもしれない。</p>	石工品製造業
一般機器	<p>景気は組合員により良し悪しがあるが、どちらかと言えば悪いという組合員が60%程度を占める。海外の工事関係の発注がなく先行きが読めない。リーマンショックでもなかったような状況で工場の稼働率が落ち、草むしりやペンキ塗りをしている状況。3月決算の会社が多いため4月の受注は落ちているが、連休明けからは、大手ではないが中堅メーカーの自動化目的の設備投資が始まる模様で発注に期待をしている。自動車関連の金型は良好な売れ行きで5~6月まで順調である。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>機械検査、機械加工関係の下請け企業の受注状況に陰りがみられ残業が減っていたが、回復のきざしあり。惣菜、自動車関係は好調で残業も多い。食品加工、食肉加工業、溶接関係、惣菜では、派遣を活用しているが人材確保が困難であり、外国人技能実習生受入の増員や新規の相談が多いが、4月から対象職種になった自動車整備から問い合わせがあり、国が審議中の介護事業者からの問い合わせも増えている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>前月同様、売上高は微増である。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>金型受注は依然として低迷状態だが、なぜか目先は忙しく残業で対応している。試作金型が多く金額も少ない仕事ばかりだが、評価次第で量産型に移行の話もあり期待している。熊本地震の影響は無く、取引先顧客にも被害は無い。金型業界の今は、あまり先が見通せない状況で、中小企業にはまだ厳しい状</p>	特殊産業用機械製造業

	態が続くと思われる。売上げは前期の繰越分もあり何とか予算をクリア出来たが、商談案件は多いものの価格等で他社競合し大変厳しい状況。成形製品の熊本地震による影響は、自動車関連部品で、1週間程度出荷を停止したが、5月以降の発注の内示は3月並みとなっている。	
輸送機器	3月同様に車両部門、精密加工部門とも作業量に恵まれ好調である。しかし、コスト面では低減要請が強く、厳しい経営状態であることに変わりない。	鉄道車両・同部品製造業
	円高の影響が出始めていると思われる。	船舶製造・修理業
卸売業	海苔の今漁期はほぼ終了。取扱枚数は平成26年度から全国的に減少してきているが、海苔の平均単価が1枚につき0.97円高くなったことで、売上が増加、在庫数量も増加となった。	乾物卸売業
	養殖フグの高騰と品薄は相変わらずで利益が出ないままフグのシーズンが終わる模様。鮮魚に期待したいが鮮魚も入荷が少ない。	生鮮・魚介卸売業
小売業	景気が悪くなったのか全体的に売上が微減している。下関では対韓国・対中国の爆買いは一度もない模様。化粧品メーカーの新商品も発売されていないので盛り上がりも欠けた。	化粧品小売業
	地方の小売商店はギリ貧の状態で見えぬ兆しは見えず、売上の増加を諦めている店や事業者もあり、現状維持が精一杯の状態。事業主も顧客も高齢化しており、お客の自然減少が続き改善の見込みはない。年金受給者の多い地域でもあり、将来の不安のため節約ムードが定着している。若年層においても所得格差が広がっており、消費が低迷している。地方の時代と言われるが、人口減少・高齢化・格差社会などの問題を解決して行かないと小規模事業者の未来はない様に思える。消費税の動向が気がかりで、レジ変更補助金の話題が事業主の間で出はじめている。今後の景気動向に多大な影響があると思えるので、来年4月に10%になるかどうかは早めに発表して欲しい。人手不足が深刻で、看護師やヘルパーなど職員の確保に苦労している施設が多くなっている。また、サービス業や土木建設業は就労者が長続きせず、これが賃金の上昇につながっており、他業種にも波及している。賃上げ出来ない業者は深刻である。	各種商品小売業 岩国市
	駅ビル地上部分の解体、市役所仮庁舎の運用開始など中心市街地は徐々に様変わりし、来街者の流れも変化しつつあるように感じる。	各種商品小売業 周南市

	対前年同月比で3%程度で推移しているが、高額・高級品の動きは鈍い。景況感は良くなく人出も少なく思える。	各種商品小売業 山口市
	4月の売上は大幅に減少。	各種商品小売業 下関市
	平成27年度は酒のディスカウント店の出店に伴い全体の売上、客数共に前年度比でアップしたが、既存組合店ベースでは1割以上減少しており、酒のディスカウント店の出店2年目となる本年7月以降では2割以上の減少を予想している。	各種商品小売業 長門市
商店街	4月に入り商店街の来街者数は増加傾向にあるものの、婦人服をはじめ衣料品関係の店舗は数ヶ月連続して前年割れの状況である。雑貨・化粧品関係は何とか前年同等を維持している。4月23日より商店街の各店舗及び商店街の中央で熊本地震の募金活動をスタートしている。	山口市
	衣料関係は良かったが他の業種は良くなく、この悪い業績の回復はあるのだろうかと店主は悩んでいる。近隣に大手スーパーが4店舗点在しており人出は多いように見え、大手の業績は伸びているようであるが萩の小企業には地方創生の声は聞こえない。ソフト面の補助金は一時的に人を集めるが購買には繋がらないと店主は言っている。27年度には2店舗の閉店があった。	萩市
サービス業	全体的に客の来店数が減少している。原因はやはり年金生活者の収入の減少により節約せざるをえない状況にあると思う。	美容業
	3月は好転したが4月に入って不変となった。熊本地震に対して、全国理容連合会としては組合員1店舗あたり500円を目途に募金活動をしている。山口県理容組合も独自に募金箱を設置し、講習会・親睦会等で募金を募っているが、とても関心がある模様である。	理容業
	昨年度の県内整備事業者の新規加入は9社であったが、退会は19社である。業界を取り巻く環境が厳しさを増しており、今後も整備事業者数の減少が続くものと思われる。	自動車整備業
	下関市ではエリアによって好不調が別れる。旧市内には少子化の進行が早いエリアが多い。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員及び売上とも対前年同月比約108%となり順調であった。熊本地震については5月以降に影響が出てくると予想しているが、九州からの修学旅行で山口方面への振替が一部でおきている。	旅館業 山口市

	熊本地震の影響でキャンセルが相次いだ。大型連休前となって回復しつつあるが前年を下回っている。一時避難先の要請があれば体制を整えるつもりでいる。	旅館業 下関市
	売店部門はリニューアルも終わり販売体制が安定したので16%の売上高の増加。入浴施設の利用者は前年同月比6%の減少。九州地方の地震等が観光客数に影響があるものと思われる。また、当地の観光に影響のある桜・石楠花等の開花・見頃時期が気象条件により早かったことも影響した。	旅館業 長門市
	熊本地震の余震はある程度の予測はあったものの、ここまで余震が続くことはだれも予測できていない。熊本県飲食業生活衛生同業組合も入居ビルが壊れ、電話は通じるものの入居し続けることができるかどうか判らないとのことで、時々震度4が来るので不安が続いているという。当山口県組合も早速募金活動を開始したが、届けるのは6月以降になる見込みである。山口県では、消防署関係の宴会予約のキャンセルの組合員の報告はあったが、大型連休前でもあり業界の景況に直接の影響はないようである。アベノミクスの経済効果は大企業でも薄れ、特に日銀のマイナス金利は裏目に出ているもようで、零細企業の多い飲食業界にとっては客足の減少につながり、当然ながら収益も悪化している。ただ、地域に密着し顧客ニーズにより支えられているお店は、景況に左右されない強みを発揮しているところも見受けられる。	飲食業
	例年よりも気温上昇が早く冬物の集荷が順調に推移しているが、年々量は減少して厳しい状況となっている。天候に左右され、大きな山が来ない繁忙期となっている。車社会では冬物の厚手アウターが不要で薄手ダウンウェアで過ごせ家庭で洗えるため、クリーニング業者にとっては現在のファッション情勢は厳しいものとなっている。一方、高級品の依頼が徐々に増えてきている。	普通洗濯業
建設業	3月の山口支部中電への工事申請は137件（前年は191件）。太陽光発電への申請9件、オール電化申請24件（前年は太陽光38件、オール電化48件）、LED街路灯への切替・新設申請43件（前年は41件）であった。電力自由化と年度替りの申請書等の様式変更を見越し、年度末の駆け込みの申請が多かった模様である。	電気工事業
	工事量が減少し、2月頃からは応援先を探している同業者が増えている。5月頃までこの状態が続くものと思われる。	左官業

	4月に入札の無い時期であるので、昨年度と変わりはない。5月からの入札に期待している。	管工事業
	組合員数は1名増、1名減で前年度と変わらない新年度スタートとなった。今後の会員数は、大きくは動かないと考えている。忙しさのあまり組合活動に参加できない組合員（個人事業主）が大半を占めており、なかなか全体をまとめるのが難しい状況。建設業では、今後ますます労働者不足が加速する傾向にあり、人材育成が大きな課題であるが、各社ともかなり難航している模様である。しかし、業界全般では専門工事業は労働者不足の影響で、元請ゼネコン等から必要とされ、単価や工期においても理解され地位が向上している。組合では、建設労働者の重要性を広めていくこと、職人の生活面の向上に努めていくつもりでいる。	内装工事業
	国土交通省等の施策や対応の効果は、大手建設業者には非常に効果がある模様だが、全国的に地方の中小建設業者は苦勞しており、都市部と地方の格差を非常に感じている。28年度予算も山口県では少しダウンしている。6月の参議院選挙による補正予算に期待して待っている状況。	土木工事業 柳井市
	ここ5～6年は恒例となってしまっているが、年度初めの2～3ヶ月は公共工事が0円である。何とかならないだろうか。	土木工事業 周南市
	28年4月の受注高は、前年同月比67%。	土木工事業 萩市
運輸業	鉄鋼関係の輸送量は国内・輸出とも下降傾向で、対前年対比で差引き0円である。長距離ドライバー不足は続いており望み薄である。労使共々苦渋の年度始めであった。燃料費は0.5円値下がり朗報ではあるが、この程度の値下げで経営状況が改善される状況ではない。熊本地震の影響は今のところ無い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	4月はなんとか前年並みの売上を維持できたが、5月以降の中長期の予想では、マツダの生産が海外生産が主となっていることから、自動車関連の運送が10%程度減少の見通しである。燃料価格は未だ低価格ではあるが、じわじわと値上がってきている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送部門では運転手の人員が補充できつつあり、トラックの稼働率を上げて売上増加を目指すところだが、燃料費がじわじわと値上がりしているのが懸念材料である。倉庫部門は預かる荷物が増えている。顧客からの要望も多様化しており、定温管理の必要性や倉庫内に顧客が常駐できる詰所を設置するなど、様々なニーズに対応しながら利益につなげているところである。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>4月16日の熊本地震で九州のメイン道路が寸断され、燃料費の値上げもあり、懸念される状態である。5月はゴールデンウィークの長期休みのために売上に期待できない。夏に衆参同時選挙が実施されると物流はまた影響を受けるかもしれない。</p>	一般貨物自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲4.8%（平成28年3月1日～平成28年4月20日分）3月1日～31日分は▲5.8%、4月1日～20日分は▲3.1%。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域だが、3月分については、周南▲2%、下松▲8%、光▲18%、防府市地区が▲1%で、組合員の全域で▲5.9%、地区外（員外）▲2%（金額少）で合計▲5.8%。防府地区の減少が少ないのは、前年度の減少が大きかったため下げ止まり気味であるだけで、需要の伸びは全く感じられない。主要燃料のLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。為替が少し円高になったが、ブタン、プロパンのCPが少し上がり（前月318\$/トンが今月335\$/トン）、石油石炭税も上がり、前月比+2%であったが、それでも前年4月分に比べると17%安価となっている。車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっている模様である。タクシー事業が不況業種なのかも知れないが、緩やかな回復基調が続いているようには思えない。中国欧州の経済停滞に加え、熊本地震も加わり、景況感はますます厳しくなっているように思われる。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>今月も大きな変化は無く低位のまま進行している。</p>	港湾運送業
その他	<p>高齢化に伴い介護の負担が増加している。また、介護職員の離職率も問題である。</p>	介護事業